


キーワードから考えることばの学習(13)

～俳句を考えるⅠ～



言語・学習指導室  
葛西ことばのテーブル  
三好純太

音韻意識

社会性

文法

語彙

俳句が  
もたらすもの

娯楽

発見

イメージ

自己認識

# 今回のキーワード

暗黙知

日本語音感

検索

省略

終助詞

俳句的ところ

## 江戸時代の有名句

古池や 蛙飛びこむ 水のおと

松尾芭蕉

雪とけて 村一ぱいの 子どもかな

小林一茶

なの花や 月は東に 日は西に

与謝蕪村

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ

服部嵐雪

## 近代以降の有名句

柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺

正岡子規

桐一葉 日当りながら 落ちにけり

高浜虚子

降る雪や 明治は遠く なりにけり

中村草田男

海に出て 木枯 帰るところなし

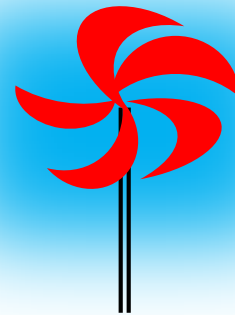
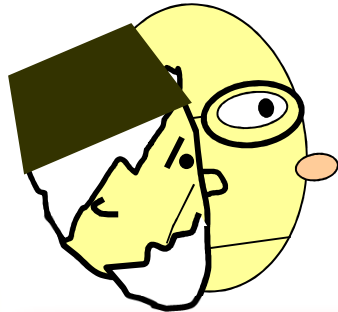
山口誓子

# 私の俳句体験

蝉鳴くや つくづく赤い 風車

作者 小林一茶 (1736~1827)

赤いの～



CONTACT

自分の中に、一茶が入って来た！

この体験は何だろうか・・・

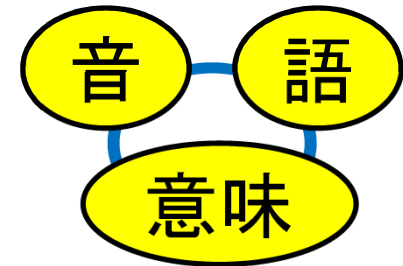
この句を読んだとき、これを詠んだ  
一茶の心が、直感的に湧き上がってきた

俳句を読んでいると、  
ときどき、そういうことが起こる

★どの俳句でも起こるわけではない  
たぶん・・・条件がある

① 俳句自体が、優れている

読む者の五感すべてに  
訴えかけるものがある



② 読み手の体験や知識と重なっている



句の内容に関する、知識や体験がまったく  
なければ、このような「再体験」は難しいだろう



それにしても…

なぜ、会ったこともない  
遠い昔の人の心情が、わかるのか

その理由は…

俳句には、詠み手の「心」が  
入れられているから

でも…

「心を入れる」とは？

「心を入れる」とは、

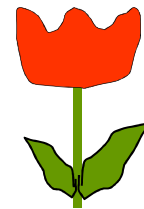
自分の体の外にある物の中に、  
「心」を描き出すこと

どうしてかというと

「心」は、形がなく、また、それを、  
ことばで明確に表すことはできないから

正岡子規は、俳句の方法として  
写生 を唱えた

写生



写生とは、ただ現実を写すのではない。  
見るものの中に、自分の心を入れること

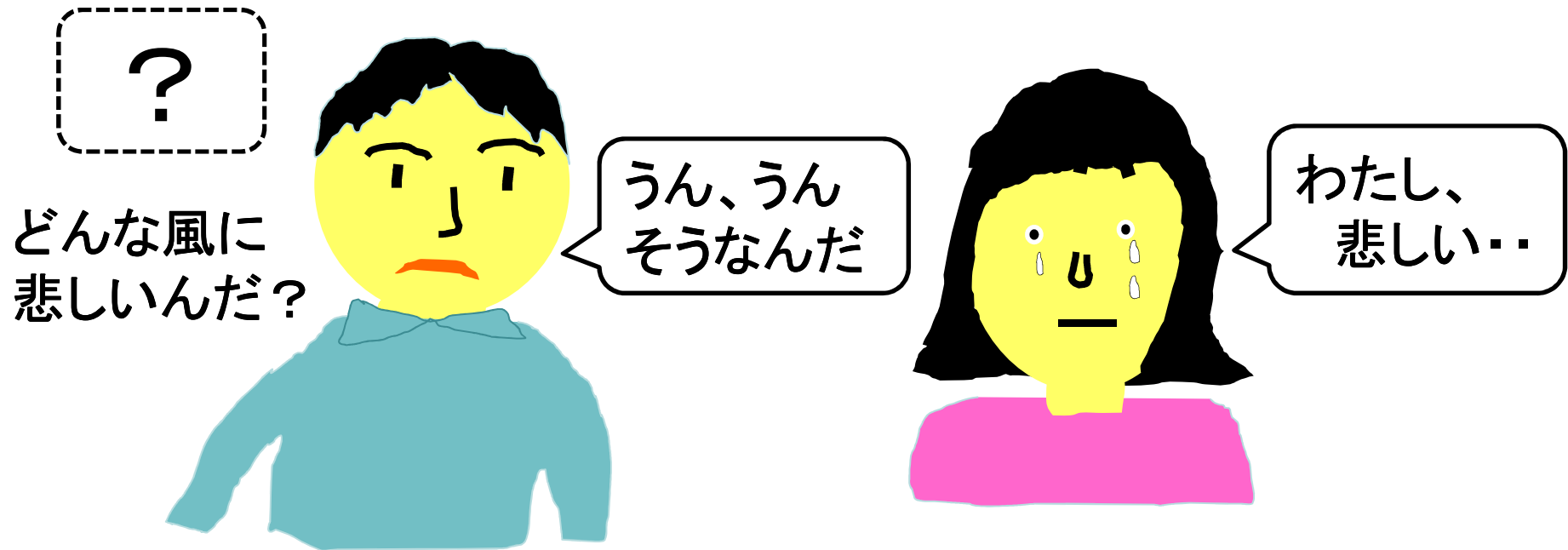
なぜ、外の物に自分の心を託すのか

それは、

心は、直接、  
近づくことができないものだから

たとえば・・・

わたしたちは、  
他人の心を直接、知ることはできない



でも...

わからないのは、他人の心だけではない

自分自身の心でも、つかめないことが多い

この気持ち、  
何だろう・・・



あれ？どっかで  
見たような・・・

自分の気持ちや、  
それから、考え、知識など、  
心の多くのものは、  
明確に知ることができない

でも..

何かを感じている

この気持ち、  
何だろう..



どっかで  
見たような..



暗黙知

暗黙知



# 暗黙知

M・ポランニーが提唱した概念

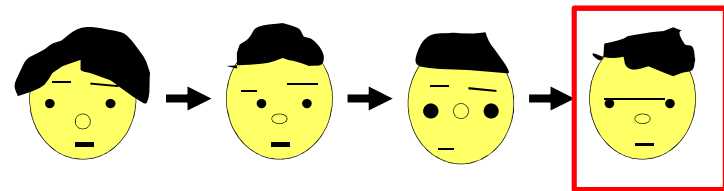
暗黙知とは・・・

言葉では語れないが、知っている

## ● ショック語の実験

「でも」 → 電気ショック → 言わなくなる！

## ● モンタージュ写真



自分であっても、他人であっても

心(知識・感覚・気持ち)は、  
意識しにくい

また、何かを感じたとしても、  
それを、言葉で説明することは難しい

「言いおぼせて何かある」芭蕉

でも・・・それに近づく方法はある



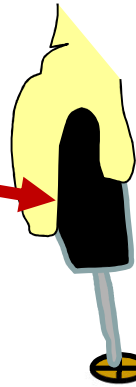
その心を、

「心の外にあるもの」を通して感知する

# 知の近接項と遠隔項

知の近接項

意識的に近づけない



知の遠隔項

意識的に近づける

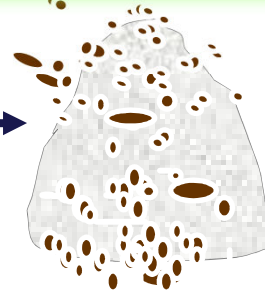
## 「見え」先行方略

悲しい、無念

心情の理解



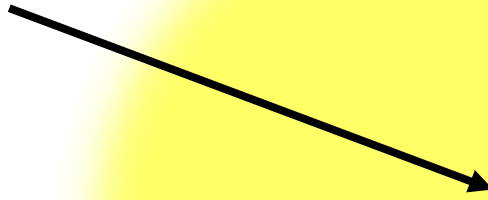
次郎



その人の  
見ている状況を、  
まずイメージする

共感の形成

何かある・・・  
それを感じる・・・



それを、心から外に  
取り出して、形にする

俳句に、音楽に、絵画に。 ●

創作

芸術

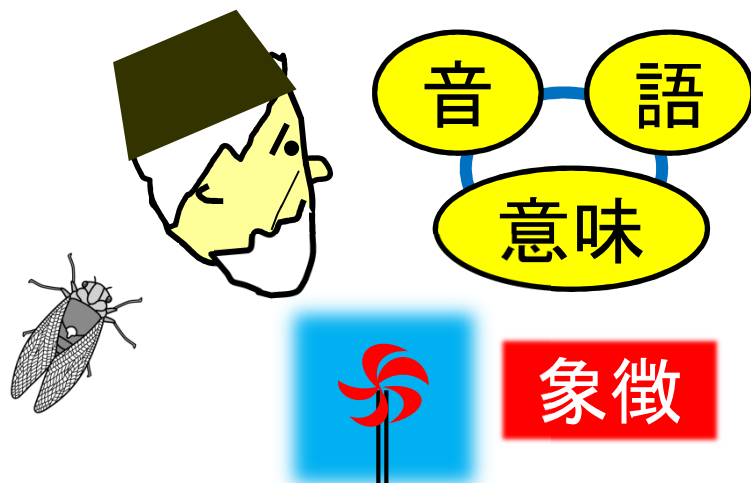
これだったのか、と気づく

だから、

作者の心が形にされた俳句を読むと、  
その心に、つながることがきる

蝉鳴くや つくづく赤い 風車

蝉鳴くや = 夏の季語



もしかしたら、蝉なんか  
鳴いてなかったかも

たぶん… ↓  
「夏」という季節が  
不可欠だった

# 俳句とは・・・

視覚を、聴覚を、ことばの意味を、  
あらゆるものを総動員して  
「こころ」を描き出すもの

こがね虫 投げ打つ闇の 深さかな

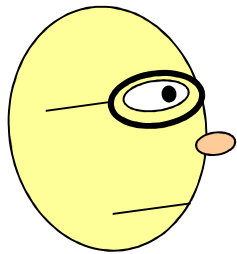
高浜虚子

バスを待ち 大路の春を うたがわず

石田破郷

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

正岡子規



作者

\* 作者と心が重なる

そう考えると…

## 俳句はタイムマシン

時空を超えて、作者と出会うことができる

でも本当は、俳句だけでない

音楽にも絵画にも陶芸にも書道にも  
作者の心情が込められている

- \* 目利きとは、それぞれのジャンルの記号を  
読み解いて、作者の心がわかる人のこと



人間は、テレパシーを持っていない

でも、心の外に形作られた作品の中に、  
人の心を感じることができる

たとえば、同じ体験をしていなくても、  
同じ知識と感覚があれば、  
心を重ねられることもある

では・・・子どもの作った俳句はどうか

ことばのテーブルでも、子どもたちが  
たくさん俳句を作ってきてくれる

古今の名句のように、とはいかないが・・・

やっぱり、作った子どもの  
心を感じるときがある！

たとえば・・・

## H君の俳句

新学期 席替えだよな 動くでしょ

かき氷 やっと来たよね おいしいな

ことばのテーブルでの俳句作りの方法

「せき」「かき氷」などの、  
お題（兼題）を提示して、  
作ってきてもらっている

だから、きっと、  
現実そのままではない

でも確かに、  
「そういう心の瞬間が  
あったんだな」と  
感じられる

# 俳句の意義

\* 読み手にとって

子どもの心に触れることができる

どんな心か？ 一瞬の心のありさま

\* 詠んだ子どもにとって

自分自身の心に気づくことができる

では、なぜ、

「**こころ**」に気づくことが大切だと、  
考えるのか。

自分は、いま確かに  
こう感じている！

クオリア

生きている実感 が欲しいのだろうか・・・

うまく言葉にできない

でも、俳句を作りたい

# 俳句ができた喜び

何とも言えない気持ちや、空気感、  
手ざわりを、形にできた！

あたたかさ

さみしさ

ふしぎさ

はかなさ

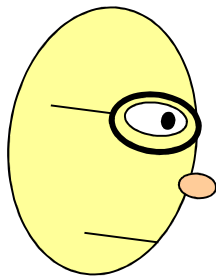
おかしさ

いとおしさ

川底からきれいな石を見つけ出したような感じ

同じように、  
他人の心の感動(実感)を  
共有することは、

同じ、心あるものとして、  
その人に対する関心や愛着を  
高めていく



あー、こんなこと  
感じてたんだ・・・



「心の外のものから、心の中を感じ取る」  
という暗黙知の考えは、いま、  
さまざまな領域の研究とつながっている

わざの伝承

ロボット

文章読解

意識

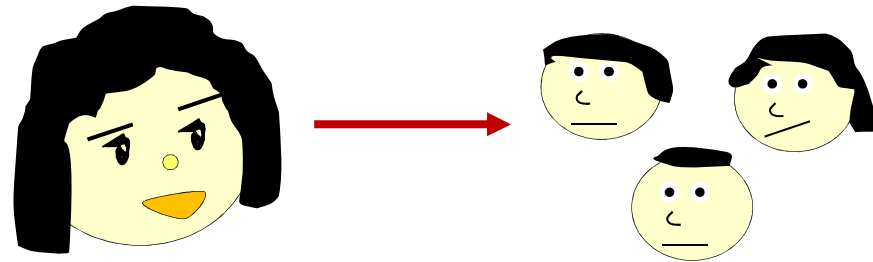
比較文化



暗黙知の考えは・・・

たとえば、知識や思考にも  
当てはめることができる

そうか、私は、  
こんなことを知り、  
こんなことを  
考えていたんだ！



★ 自分の頭の中の知識や、考えを、  
他の人に、説明する

心から、外に取り出すことによって、  
自分自身も、より理解を深めることができる

それからもうひとつのキーワードは・・・

## 比喩：たとえ

理屈や事実を語るよりも、  
たとえ話の方が、物事の本質が伝わる

一頭の子羊が道に迷い・・・

# 俳句の基礎知識



# 俳句 haiku

世界でいちばん短い詩

連歌の発句を独立させたもの

- ・江戸時代に松尾芭蕉が確立
- ・明治になり正岡子規が  
近代俳句を確立

# 俳句のきまり

- 5・7・5の定型
- 季語（季題）を入れる
- 切れ（字）を入れる

# 5・7・5とは何か

5・7・5 三句 17音のリズム

さみだれや

上句



たいがをまえに

中句



いえにけん

下句

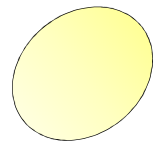


# 日本語音感

# 17音とは、拍＝モーラの数

拍(モーラ)

● 基本拍 音節数＝拍数



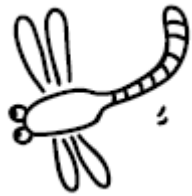
ta ma go

3音節＝3拍

● 特殊拍 音節数≠拍数



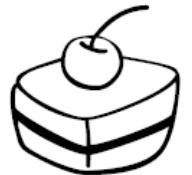
● 特殊拍 音節数≠拍数



とんぼ 撥音



らっぱ 促音



ケーキ 長音

2音節=3拍



キャベツ 拗音

3音節=3拍

だから、俳句においては・・・

撥音・促音・長音は、

5・7・5の音 ひとつぶん

でも拗音は、「きゃ」のように、

文字は2つでも、音は、ひとつぶん

チューリップ は チューリップ 5拍

つまり 拍の認識は、俳句作りに不可欠

しかし、もっと根本的に・・・

この拍の認識ができていないと…

③ かな文字で、正しく単語が書けない

たとえば…

たからもの→たかもの

ひこうき→ひこき

ろけつと→ろけと

しんぶん→しぶん

このような誤りは、

拍が未発達な子どもに多く見られる

しかし、拍の認識は、書字以前に

② かな文字の読みの習得に欠かせない

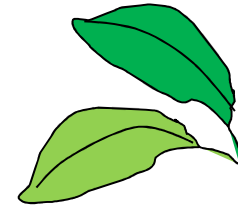
はっぱ

「は」と「ぱ」のあいだに、  
1拍の間が感じられなければ、  
その間を表すための  
小文字「っ」が理解できない

さらに、拍の認識は、文字習得以前に

① 話しことばの習得に欠かせない

happa



ha と paのあいだに、

1拍の間が感じられなければ、

happa という促音が習得できない

子どもが、俳句を身につけるには、まずは、  
5・7・5の枠に、文字を入れて行くのが、  
わかりやすい

は	る	が	き	た
---	---	---	---	---

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

その作業が

七五調のリズムとともに、  
拍の感覚を育てて行く

拍を始めとして

日本語のリズムや  
イントネーションの体得は、

言語習得の基盤

語彙

文法

会話

では、日本語の音韻・リズム的な特徴には、  
どのようなものがあるだろうか？

# フット (foot)

フット: 2拍のまとまり

日本語の話者は、拍を2つずつまとめてリズムを安定させる

■ 複合語の省略    デジ | カメ

■ 曜日    げつ | かー | すい



## フットによる文の音読練習

フットのリズムでよんでみよう 1

おや つを たく さん、 たべ たい な。

くる まで、 やま に でか けた よ。

おみ せで アイ スを、 かい まし た。

## 俳句も、じつはフット

5・7・5の奇数拍の詩だから、

2の倍数のフットから、はずれるようだが  
句のあいだの「間」=休符 によって・・・

▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽  
さみだれや            たいがのまえに    いえにけん

▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽   ▽  
ふるいけや            かわずとびこむみずのおと

上・中・下句のあとに、休符を入れると、  
フットとして読むことができる

もうひとつ、拍を基盤としたリズムがある

2拍と3拍

日本語の母体である、  
和語（大和ことば）は  
2拍と3拍のことば

とり

かめ

ひかり

つぼみ

では、「歯」や「木」や「火」は？

和語は、文字で表せば、  
1文字のことばが多かった

※でも、2音(2拍)で話されていた

「歯」 関西弁では、「はア」 haa<sup>↑</sup>

★日本語は、1拍の単語を好まない

では、

「ふでばこ」や「ひなまつり」は？

これらは、

2音・3音の単語の複合語

ふで	はこ
----	----

ひな	まつり
----	-----

# □のつくことばを考えよう

なののつくことばをかんがえよう

な す

な つ

な く

な ま え

な み だ

な き む し

な ぞ な ぞ

な つ や す み

2+2、2+3 で考えると  
いっぱい出て来る

俳句も分解して行けば・・・

2と3の言葉になって行く

ふる	いけ	や	かわ	ず	と	び	こ	む	み	ず	の	お	と
----	----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

\* 2拍・3拍の単語に助詞をつけて  
5拍・7拍を作っている

俳句の5・7・5の形は、  
日本語のリズムやアクセントの特質から  
生み出されたもの

♣音韻意識について詳しくは、HP資料「構音障害と音韻認識」をご参照のこと

# 俳句の意義

俳句の5・7・5を通して、  
日本語のリズムを育てる



- 書字能力
- 読字能力
- 構音
- 会話明瞭度

さまざまな領域の向上につながる



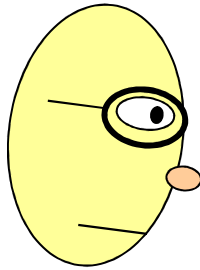
さあ、5・7・5の規則も説明したことだし  
子どもに俳句を詠んでもらおう！

しかし・・・すぐにはできないことがほとんど  
どこに難しさがあるのだろうか？

それを探るには、  
俳句を詠む過程を考えて見る必要がある

# 俳句を詠むプロセス

情景を浮かべる



ことばを探す

夕焼け・・・夕暮れ・・・  
日没・・・黄昏・・・

ことばを決める



俳句ができる

さあ、いい俳句になったかな？

いい俳句を作るためには  
いいことばを選ばなければならない

ことば選びのためには、  
2つの大切なことがある

**1** 頭の中に、いいことばの辞書が  
入っている

**2** その辞書から、ことばを上手く、  
探し出すことができる

**1** 頭の中に、いいことばの辞書が  
入っている

ことばを探すときに、もともと知らない  
ことばが、出て来るはずがない



その人の持つ語彙の豊富さが  
まず必要になる

辞書の充実は、とても大切なのだが、  
でも、いま取り上げたいのは・・・

**2** その辞書から、ことばを上手く、  
探し出すことができる

上手くとは何か

速く

細かく

正しく

この能力（機能）が備わっているか

俳句の良否が決まる

そして、

子どもにとっては、

俳句が詠めるかが決まる

# 検索

情報から必要とするものを探し出す

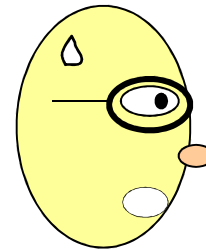
# 理解語と表出語

●理解語：理解できる単語

●表出語：表現できる単語

成人の場合、表出語は、  
理解語の半分くらいとされている

聞いたらわかるが、  
表現としては出てこない



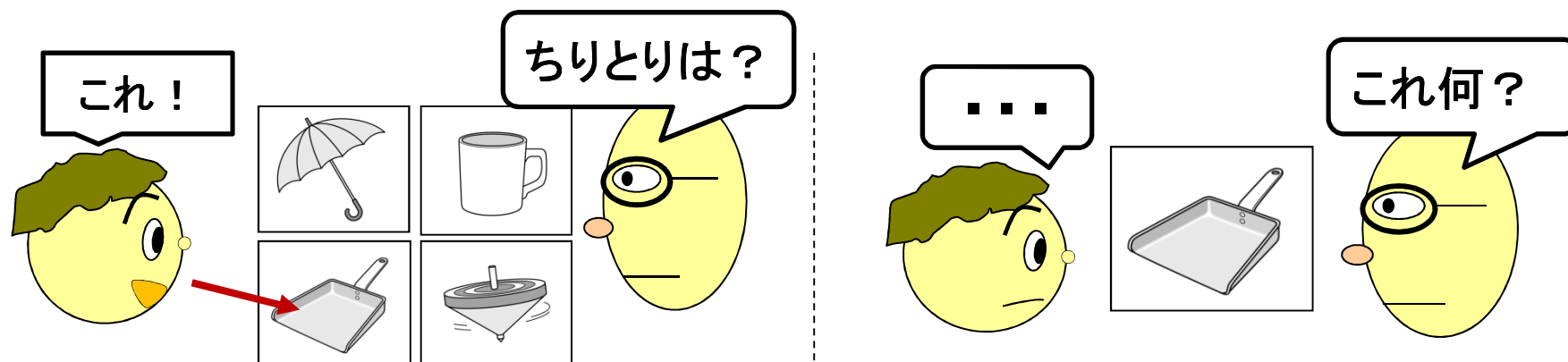
えーと・・・  
何と云うか。

この理解能力と表出能力の隔たりは  
発達障害の子どもでさらに強い

という印象がある

たとえば・・・

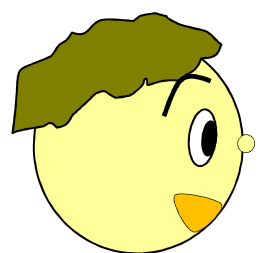
絵カードの選択はできるが、  
呼称はできないという場面は多い



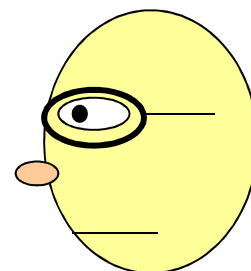
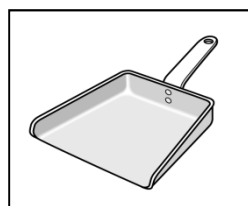


また表出においても

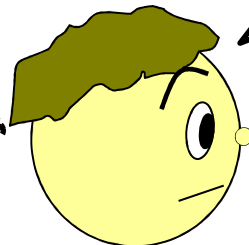
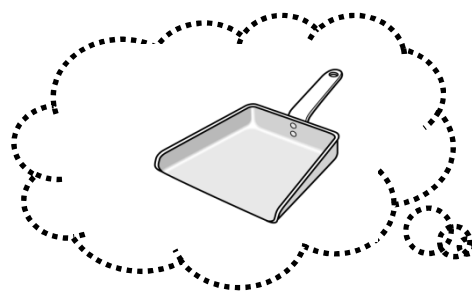
絵カード呼称などの課題では、言っても  
日常のやりとりで出てこないことが多い



ちりとり



これ何？



....



なに探して  
るの？

知ってはいるのに出てこない

発達障害の子どもの  
ことばの表出の弱さ

その要因のひとつが、

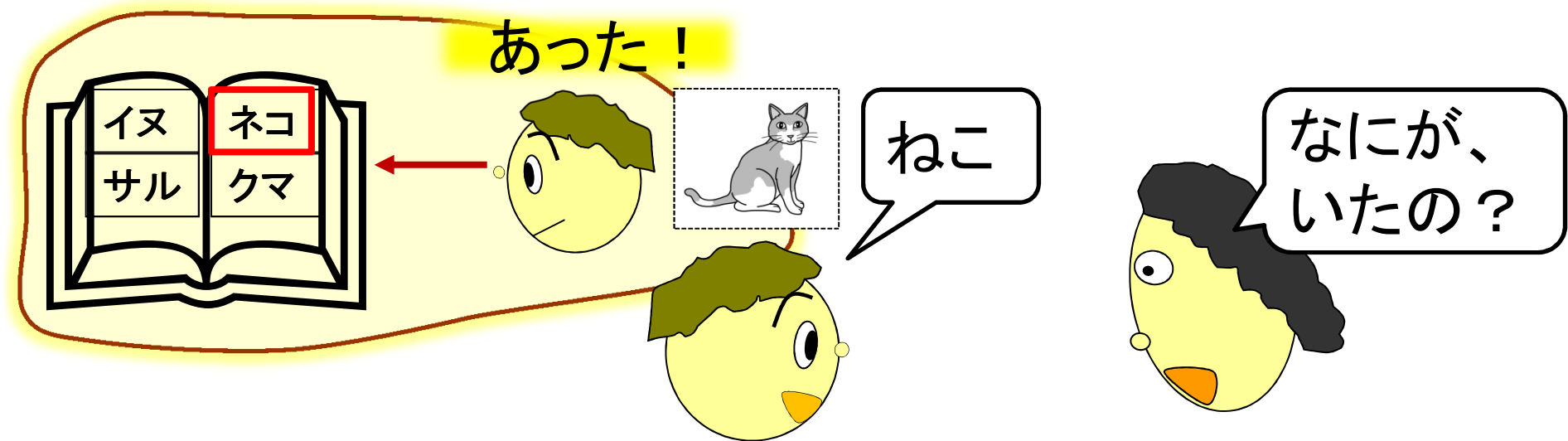


ことばの脳内辞書の検索力の弱さ

# ことばの脳内辞書からの検索

脳内辞書 = メンタルレキシコン

私たちは、頭の中の、ことばの辞書から  
ことばを探し出して、会話している



この、ことばの検索力は、**個人差が大きい**  
たとえば、**お笑い芸人**の人たちは・・・

瞬間的に、その場に最適なことばや  
おもしろい言葉を口にすることができる

それは、脳内辞書からの  
検索力が高いことを物語っている

そして、**俳人**も、  
**ことば検索のスペシャリスト**

豊富な脳内辞書の中から、  
[ それしかない！ ] という言葉を、  
探し出すことができる



それは、日々のトレーニングの賜物  
いつもことばを探している

でも、ただやみくもに、  
探しているわけではない

● 5・7・5の音

● 季語を入れる

● 切れを入れる

俳句の制約の中で、  
ことばを探している

制約はまた、「**条件**」という言葉で  
言いかえることができる

検索条件

たとえば、短絡的な考えをすれば・・

5拍で × 硬い感じの音で × 季節があって



柿食えば kakikueba

これだ！

\* 複数の条件を掛け合わせている

クロス条件



第11回学習会「自己認識」

クロス条件を始め、検索トレーニングは、

ことばの表出力の向上に、つながる

と思われる



学習課題としての設定

語想起課題

検索活動の活性化



# 語想起課題

動物の名前を  
5個、言おう

量・速度

「み」のつく  
4文字ことば

カテゴリー クロス条件

表現方法 共有性

「日」のつく漢字  
を探そう

白いものには  
何がある？

# 検索トレ課題

□のつくことばを考えよう

なのつくことばをかんがえよう

な	す	な		な			
な			な	み	だ		
な				な			
な							

## ● クロス検索

条件① 語頭音「な」

×

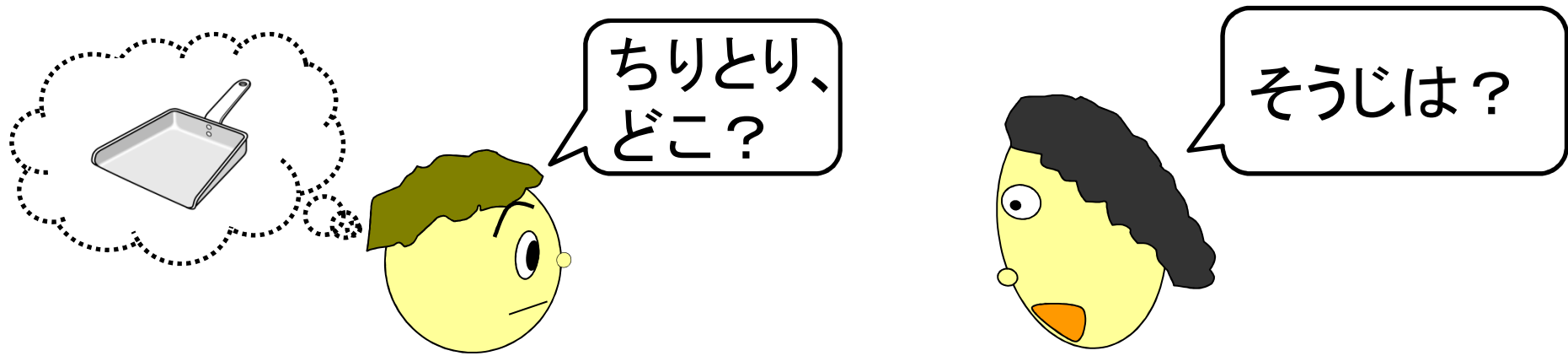
条件② 音数(拍数)

「な」のつくことばで  
3音のことば

でも・・・

実際のコミュニケーションにおいても、  
それから、俳句作りにおいても、  
突然、「あ」から始まる4文字の単語  
を、探すことはあるだろうか

会話でも、俳句でも、表現したいことは  
さまざまな関係性の中にある



状況があり、前後関係があり、  
人がいて、気持ちがある

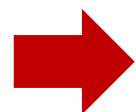
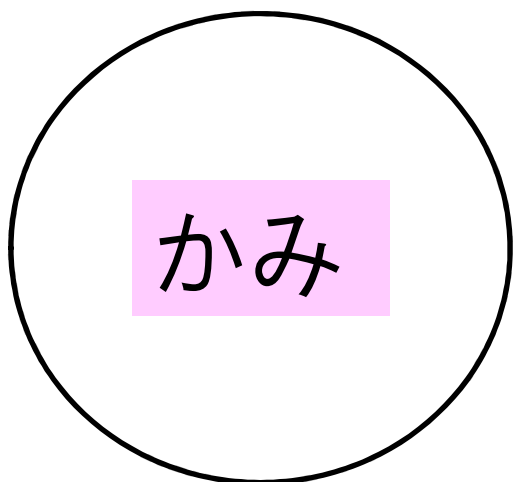


ことばは、さまざまなものと、  
関係し合いながら出て来るもの

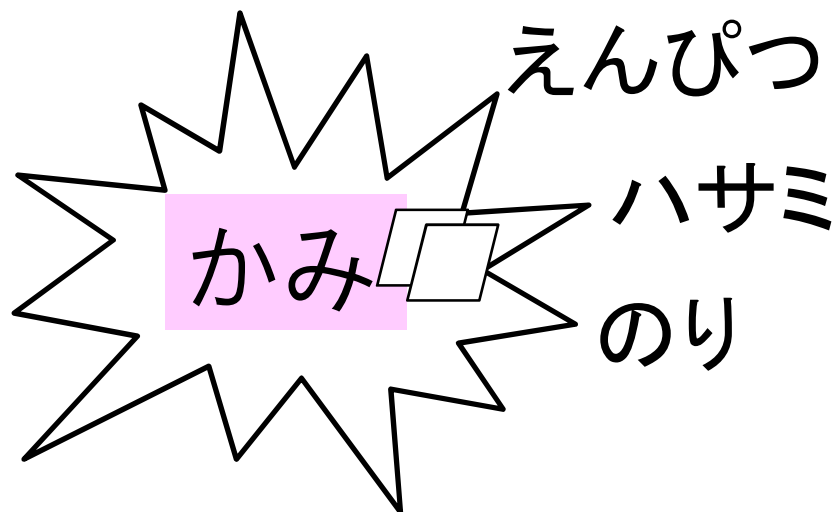
だから

ことばは、色々なことばと、  
つながっていないければ、役に立たない

つるつることば



ぎざぎざことば



第9回学習会のスライドから

逆にいえば、  
絵カードの選択や呼称ができることが、

実用的なことばを持っている  
ことにはならない

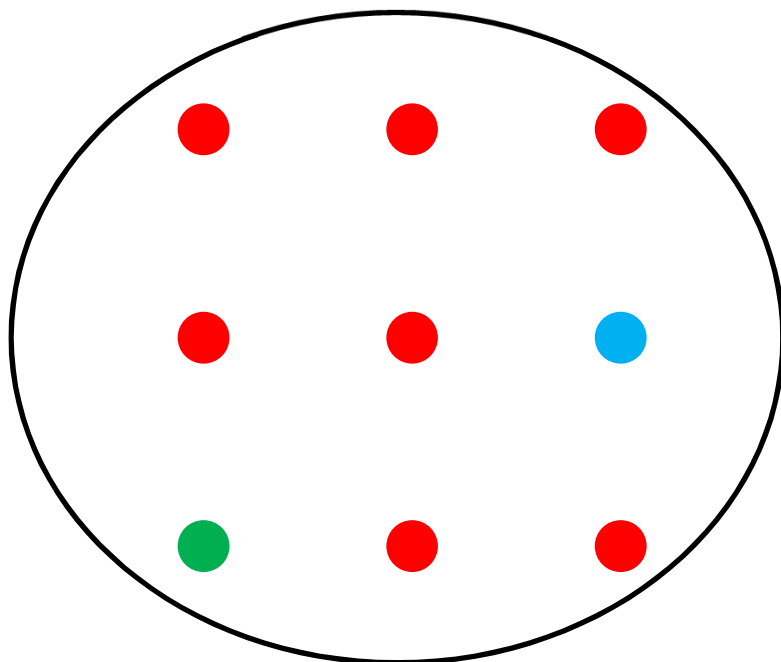
それらは、

ラベル的名称の理解でしかない



ことばのネットワークの形成が必要

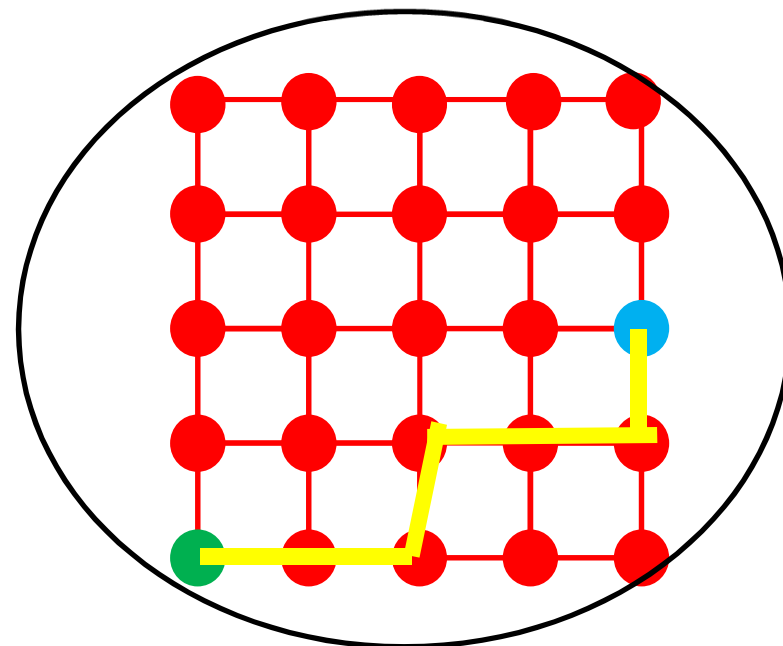
# ことばのネットワークと検索活動



点

限られた場面でしか出てこない

例: 絵カードの呼称



網

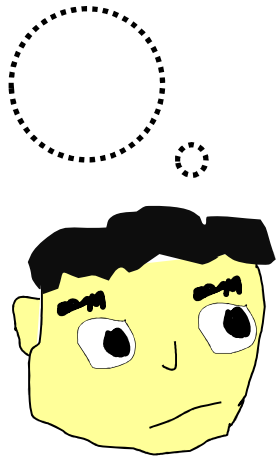
色々な場面で出てくる  
より速く出てくる

そして俳句作りも、デジタルなものではなく

## 関係性の中での検索活動

なぜなら俳句は、

ひとつのまとまった世界を詠むもの  
だから

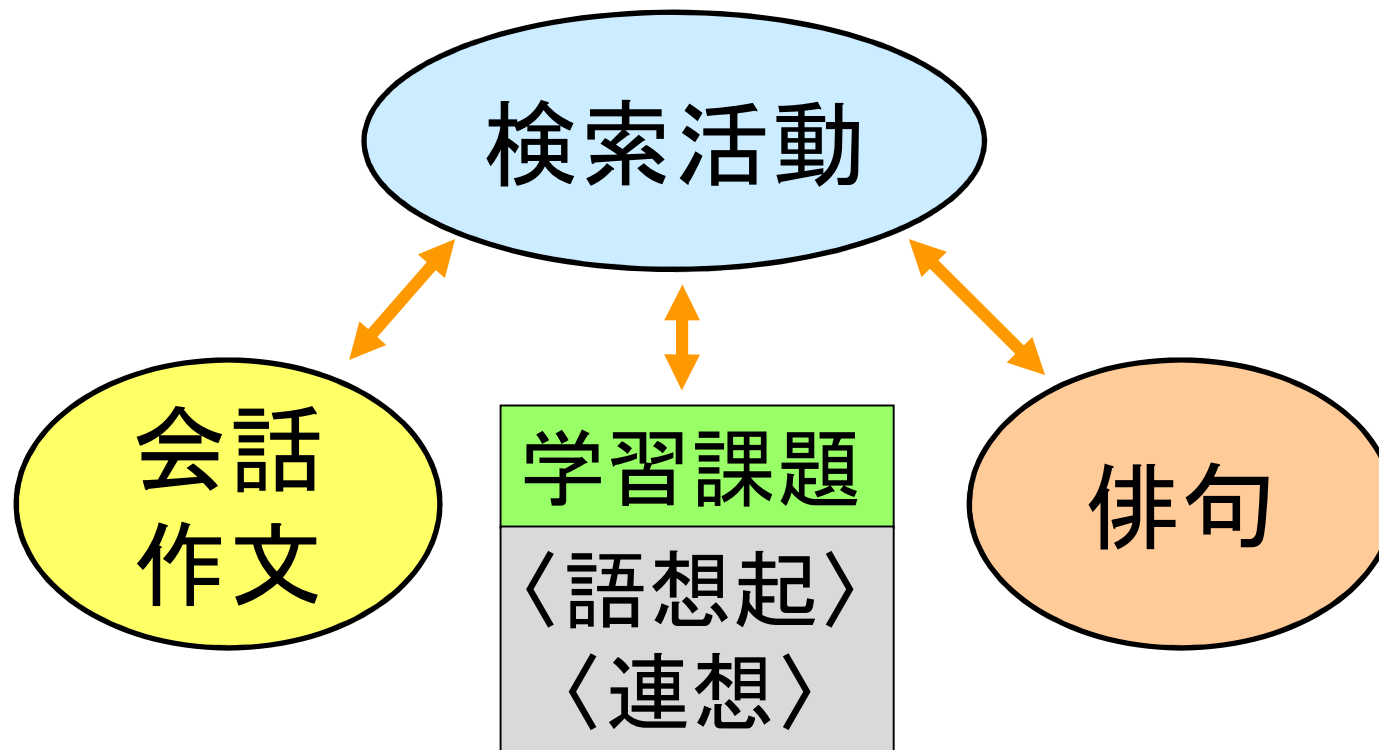


柿食えば 鐘がなるなり 法隆寺

いにしえの都の秋を詠もう。それには・・・



俳句における検索は、  
日常コミュニケーション場面の検索に  
つながるもの



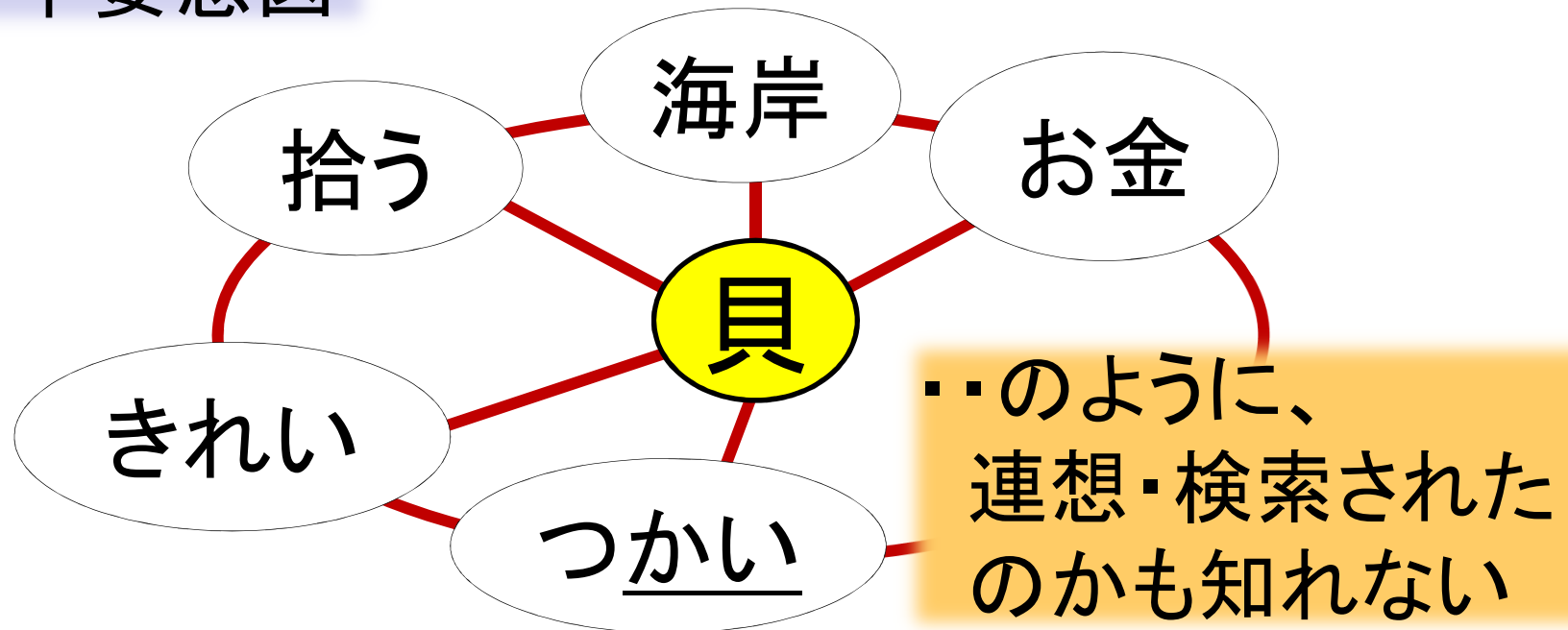
# 子どもの作った俳句から

貝ひろう 貝きれいだね つかいたい

テーマ: 貝



心の中妄想図



# 俳句の意義

俳句は、ことばの検索を  
活発にする活動

それは、俳句を詠む力を高めるとともに



会話や作文における  
表現能力の拡大につながる

学習課題として

データ教材 第2集

ことばのネットワーク

ことばの関係性と語想起を  
テーマとしたプリント集

# 教材の特色

## 構成

### ● 関係づけ課題

ことばの  
多面的理解

### ● 語想起課題

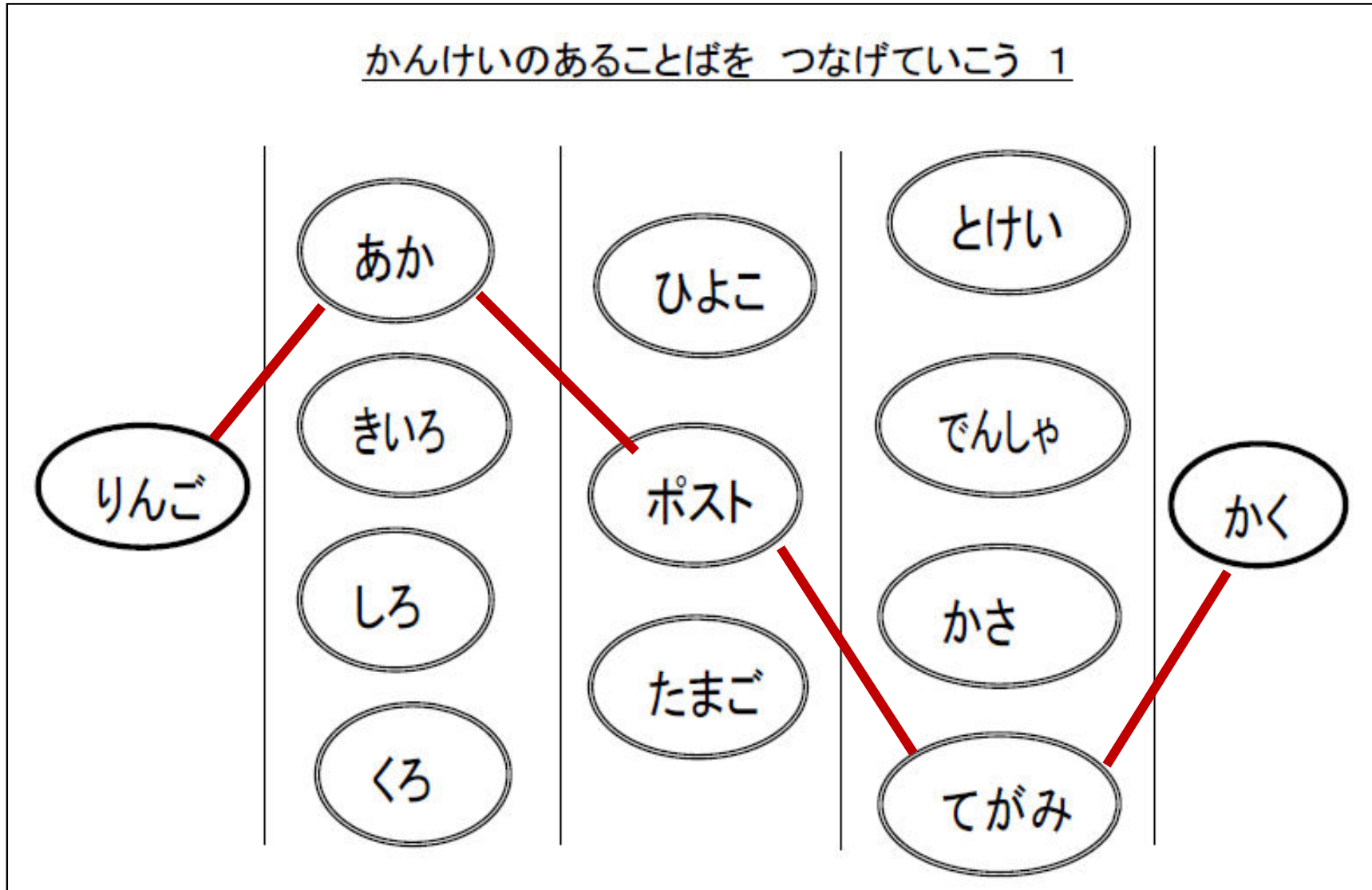
検索活動  
の賦活

★ 俳句作りのレディネスとして

# 関連づけ課題①

# 連結連想

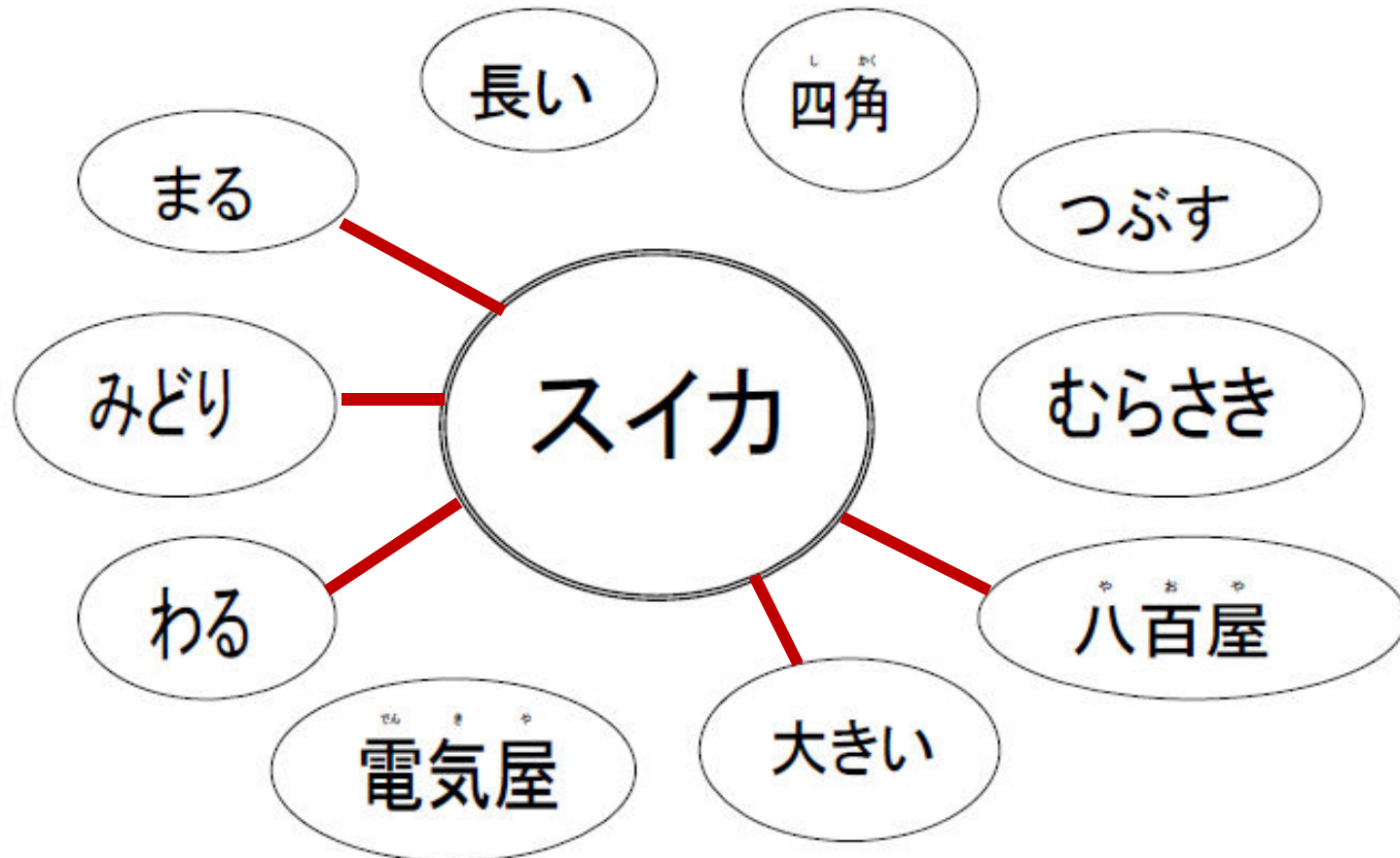
かんけいのあることばを つなげていこう 1



## 関連づけ課題②

## 単語の多面性

なかまのことばをさがそう 15



# 関連づけ課題③

# 同カテゴリー

なかまの ことばを せんでむすぼう 1

( 月 日)

すもう

・ ホームラン

サッカー

・ ノックアウト

野球

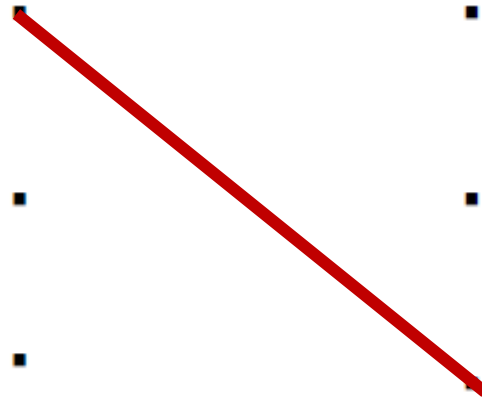
・ うわ て な 上手投げ

ボクシング

・ アタック

バレーボール

・ フリーキック





# 関連づけ課題④

# 季語・季題

きせつ  
季節のことば 1

はる  
春

なつ  
夏

あき  
秋

ふゆ  
冬

タンポポ

ひなまつり

プール

お  
落ち葉

きたかぜ  
北風

タンポポ

ひなまつり

かき  
氷

クリスマス

くり  
栗

# 語想起課題①

## 単語の定義

どんなものが あるかな？

<sup>あか</sup>  
赤いもの

りんご ポスト ち

<sup>ふろ</sup>  
お風呂で  
つかうもの

<sup>そら</sup>  
空を  
とぶもの

コンビニに  
あるもの


# 語想起課題②

# 音／クロス条件

なのつく ことばを かんがえよう

な	す
---	---

な	し
---	---

な	み
---	---

な	ま	え
---	---	---

な		
---	--	--

な			
---	--	--	--

な			
---	--	--	--

な				
---	--	--	--	--

# 語想起課題③

## 連想発展

### ことばを つなげよう 1

いちご

赤い

ポスト

手紙

書く

えんぴつ

細い

バナナ

きいろ

ひよこ

こども

あそぶ

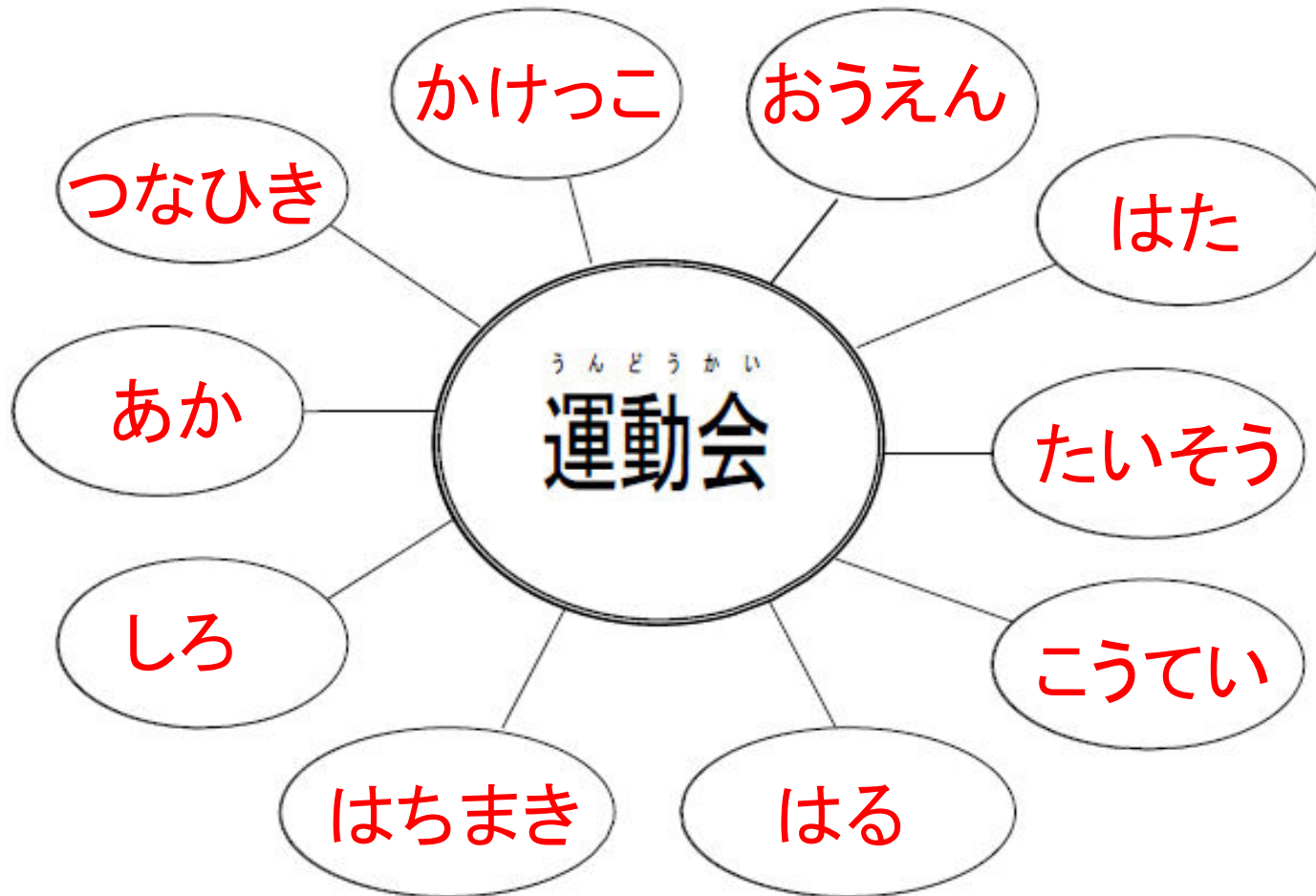
こうえん

ブランコ

# 語想起課題④

# 単語の多面性

かんけいのあることばを かんがえよう 8



さて、それでは、

ことばも決めまし、俳句を詠もう

おとなりが 声をひかえて 豆をまく

うーん・・・なんか俳句らしくない

ふつうの文みたい

じゃあ俳句っぽくすると・・・

となりから 声ひかえめに 鬼は外

自作です！

# 俳句らしさとは何だろう

お隣の人が、声を控えめにして、豆まきをしている

省略

倒置

詠嘆

となりから 声ひかえめに 鬼は外

省略



# 俳句の中の助詞

古池や 蛙飛びこむ 水のおと

柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺

蛙飛びこむ



蛙が飛びこむ

柿食えば



柿を食えば

\* 俳句では助詞が省かれることが多い

# どんな助詞が省かれることが多いか

格助詞

が・で・に・を

なぜ省かれるのか



\* 音をそろえるため

\* 間を作り、余韻を残すため

たとえば・・・

**雪とけて** と **雪がとけ** は、

同じ内容を言っているようだが、  
ニュアンスが違ってくる

**雪がとけ**

具体性が強い感じ。特定の出来事。

**雪とけて**

詩的でイメージ性が高い。  
みんなの心の中の「雪解け」

俳句の片言性(坪内稔典)

ただし…

## 助詞の省略には条件がある

それを省いても、  
文の意味が通らなければならない

格助詞で、名詞と動詞の結びつきが強く、  
また、文(句)全体から推測が可能

海に浮く

風で飛ぶ

などは省略できない

子どもの俳句作りにおいては・・・

「雪とけて」の普遍性云々は、  
難しいと思うが・・・

音合わせのために、  
「助詞抜き」を覚えることは、  
意義がある、と思う

話しことばで、なかなか助詞が  
使えなかった子どもが...



なんとか、助詞が入るようになった！



そして、今度は、俳句で  
助詞を抜くことを覚える

その意義は何だろうか？

では、「助詞を抜く」ためには、  
どのような能力が必要だろうか  
まず、

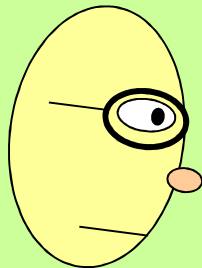
● 文に助詞を入れる一定の能力

話し言葉で助詞を使えなければ、  
俳句を構成するのは困難

そして、

● 助詞を抜いた文の適否の判断

そこ、  
「**に**」とっても、  
いいんじゃない？



「ひこうき**に**のって」  
あ、あまっちゃうな。



あ、そうか。  
とっちゃえ！



助詞に対する  
上から目線

自分が操作するものとして、  
助詞を認識する

助詞の知識化



## 子どもの作った助詞抜きの俳句

女の子 ソーダごくごく のんでいる

書き初めで「強い子」書いて 強く書く

花火見る 雷混ぜた 輝きよ

\* 作者は、一定の言語力を持っている

さて・・・それでは、

俳句において、

もっとも大切な助詞は何だろうか？

たぶん、それは・・・

終助詞

## 終助詞

秋深き 隣は何を する人ぞ

春の海 ひねもす のたりのたりかな

荒海や 佐渡によこたふ 天の河

山鳩よ 見ればまわりに 雪が降る

\* 俳句の切れを作る

# 終助詞のはたらき

文の終わりに付いて、  
話し手の気持ちを表現する

=ムード

現代の

ことばでは、

ね

よ

な

ぞ

わ

さ

などが、よく使われる

いいね

いいよ

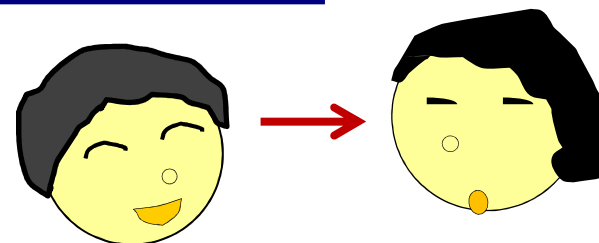
いいな

いいぞ

## 終助詞「よ」と「ね」の働き

よ

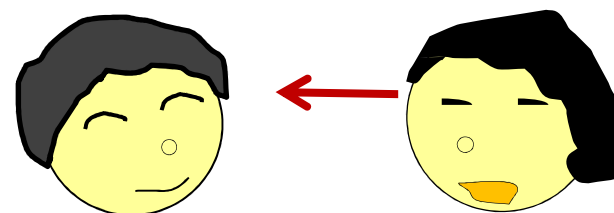
これ、おいしいよ



話し手の方が聞き手より認識の度合いが高く、また、話し手が、聞き手にとって、その情報を得る必要があると考えて、聞き手に伝える文に付ける

ね

これ、おいしいね



聞き手の方が、認識の度合いが高いと、話し手が考える情報について、聞き手の認識を通して、話し手の認識を高めるための文にくっつける

# ● 助詞の発達 (綿巻・大久保らの研究より)

	● 構文の型	● 助詞・助動詞の種類 * その他の特徴
1才前後	一語文	
<b>1才半</b>	一語 + 助詞	<b>終助詞「ね」「の」</b>
1才半～10ヶ月	二語文	* 疑問詞の出現(コレナニ?)
<b>2才前後</b>	三語文・多語文	<b>格助詞、係・副助詞</b> * 発話明瞭度9割
2才半前後	複文(節)	<b>助動詞の多様化</b> * 共同注意請求・心的状態語
2才半前後～3才	文章の構成	* 疑問詞「なぜ」の出現

## 子どもの作った俳句にも・・・

てい電で こたつの中が つめたいよ

秋の日に モミジが落ちて しずかだな

古いもの 使えないんだ どうなるの

夜になる ホタルのおしり 光るよね



ことばのテーブルでの、  
子どもの俳句作りにおいて

終助詞の役割は・・・



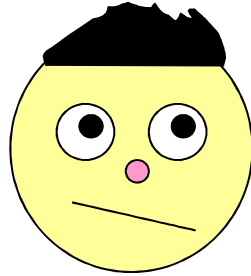
まず音数合わせのための  
詰め物としての役割が大きい



ことばの最後に、終助詞をくっつけて、  
5音や7音に合わせる

ばんごはん カレーをつくる…

うーん…  
1こ、  
たりないな



「な」でも、  
入れようか…

お	い	し	い	
---	---	---	---	--

お	い	し	い	な
---	---	---	---	---

できた！



5・7・5に、はめるための材料

俳句作りには、音数合わせのための  
さまざまな材料の知識が必要



食べる→食べよう お茶碗→茶碗 etc

★その中でも終助詞は、  
語尾につくため使いやすい

まずは、終助詞の持ち駒を増やす  
(=頭に浮かぶ)ことが大切



そして、とりあえず使って見る

だから、最初は、終助詞の使い方が  
不適切なことも多い

△ おいしいな → ○ おいしいよ

それでも、  
ことばは、使って行かなければ、  
育たない

しかし・・・

発達障害のこどもが、  
言語表現物の中で、  
終助詞を用いる場面は少ない

とくに

自閉性の子どもは、  
日常会話の中でも、  
終助詞を用いない子どもが多い

# 俳句の意義

俳句の学習は、終助詞に触れ、  
それを使ってみる大切な機会になる

最初は、  
5・7・5の詰め物で使っていたものが、  
だんだんと、自分の気持ちを乗せる  
ことばになって行ってくれれば。

俳句に終助詞が入ると・・・

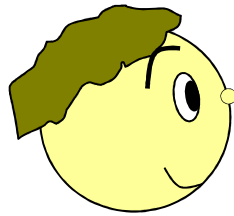
俳句が、体温を持つ

\* 詠み手の温かみを感じる

俳句が、ダイアログ（対話）になる

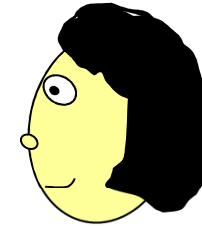
\* 詠み手と、対話する存在が浮かぶ

# 詠み手と、対話する存在

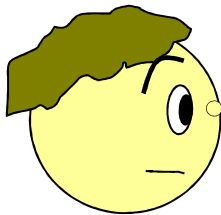


おいしいね

かわいいよ



他者(読み手)



きれいだな

がんばるぞ



自分自身



# 川柳と俳句の違い

川柳は、意味を詠む

孝行を したい時分に 親はなし

俳句は、自分の心を詠む

\* 一人称の文学

ことばのテーブルで、子どもが作ってきたものは、季語はなくても「俳句」

## H君の俳句

雪がふる 外に出ようよ 雪だるま

春になり あったかいなあ 温度だよ

牛肉だ けっこううまい 焼肉よ

料理だよ おいしく作る 目玉焼き

生き生きとした心の動きが伝わる

そして・・・もうひとつ。

何人かのこどもの作った俳句で、  
とても印象的に使われている  
助詞がある

それは・・・

係助詞

「は」

## 子どもが作った俳句から

月は空 夜に出るんだ きれいだな

海是水 およいだらダメ あぶないよ

貝は海 広い海から とりました

月は丸 おひさまも丸 どれも丸

この、「は」の用法は？

# 係助詞「は」の用法のいろいろ

## ①とり立て・強調

\* 春**は**曙、ようよう・・・**思い入れ**  
(春は、曙にかぎる!) **ムード**

## ②既知

\* 庭に猫がいた。猫**は**三毛だった。

## ③提題

**事実の説明**

**ムードなし**

\* タヌキ**は**、哺乳類。

月は空 夜に出るんだ きれいだな

海は水 およいだらダメ あぶないよ

では、これらの句の「は」、は？

月は空(にある)

海は水(で出来ている)

の省略だと思われるので… 提題の「は」

\* 単なる事実の説明、だろう

月は空 夜に出るんだ きれいだな

海は水 およいだらダメ あぶないよ

でも・・・これらの句を読むと

AはB の部分に  
何だか、ハッとする

Aという主題を、ただ説明しただけなのに、どうしてだろう？・・・

月は空に出る | 海は水で出来ている

どちらも、当たり前で、わかりきった説明  
なのに、どこか作者の気持ちを感じる



これには、「心理」と「表現」  
2つの側面の理由が、  
あるように思われる



# 心理の側面

## T君の俳句

月は空 夜に出るんだ きれいだな

山見れば 山をみるほど 高いんだ

足あれば 歩いて行くよ どこまでも

当たり前が発見

俳句作りでは、驚きや発見のない句は  
「ただごと俳句」として、  
駄句の典型とされている

でもきつと、たいが君にとっては、

「月は空にある」ということは、  
それを、ことばにしてみても、  
あらためて気づかされる  
**発見**だったのでは。

この驚きは、  
俳句の精神(核心)に通じること

俳諧は三尺の童にさせよ 芭蕉

子どもは物事によく驚き、楽しむ

それは、ことばの新鮮さでもある

幼い子どもにとって、ことばは、  
新鮮な響きに満ちている



もも

この言葉を最初に使ったのは、  
だれだろうか？

最初に使われたとき、[momo] という  
ことばは、新鮮な響きに満ちていたはず



「もも」かあ・・・

俳句は、ことばが本来  
持っていた輝きを、  
蘇らせるものでもある

柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

正岡子規

kaki

fukasa

日本語のことばの持つ  
響きに気づかされる

## 表現の側面

月は空 夜に出るんだ きれいだな

AはB

2つのものを並べる

2つのものが対比・強調される



AとB、という異なるものが、  
それぞれを効果的に照らし出す

異なるものを組み合わせて用いる技法



モンタージュ

映画

※俳句における、モンタージュ効果

二物衝撃

取り合わせ

荒海や 佐渡によこたふ 天の河

荒海

vs

天の河

T君の俳句にもどると・・・

月は空 夜に出るんだ きれいだな

「月は空」は、比喩ではないし、  
もちろん何かの効果を狙って  
詠んだものではないだろう

でも・・・

「月が空にある」のような文ではなく、



「月**は**空」と、切り出されると・・・



当たり前前の取り合わせが、  
新鮮なイメージとして浮かび上がる

そして、詠み手(たいが君)の発見と、  
その強調を支えているのが...

## 助詞「は」

「は」は、気持ちの表現として重要  
ムード

と、同時に

「は」は、自分の判断の表明であり  
自我の表れでもある

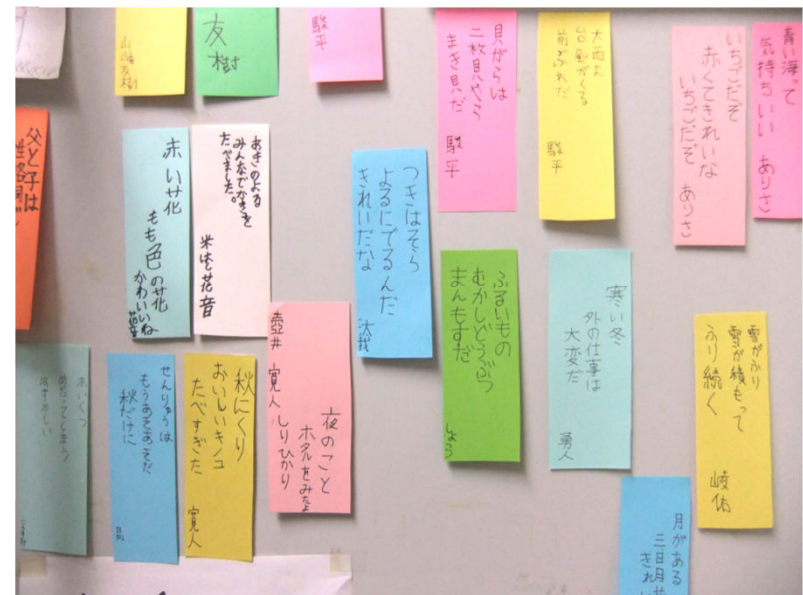
子どもの中に、「自分」が育っていることが感じられる

# ことばのテーブルでの俳句作り

6年ほど前から、子どもに俳句を  
作って来てもらっている

「俳句をよもう」という  
プリントを作り始めた  
のがきっかけ。

それを整理して、  
100枚プリントとした



# 100枚プリント第18集 俳句をよもう

現在、製作中

## 教材の特色

- 段階的な俳句理解・俳句作り
- 名句の鑑賞
- テーマ(お題)による俳句作り

# 教材の構成

- ◆ 俳句のことばを考えよう
- ◆ 言葉をつなげて俳句を作ろう

段階的  
俳句作り  
レディネス

- ◆ 俳句をよもう

俳句の  
鑑賞・創作

# 段階的な 俳句作り①

俳句のことば  
を考えよう  
(下句)

5・7・5の  
リズムに慣れる

創作の理解

気持ちの表現

②

タ  
ン  
ポ  
ポ  
が

み  
ち  
に  
さ  
い  
て  
る

き  
れ  
い  
だ  
な

①

に  
ち  
よ  
う  
び

パ  
パ  
と  
ふ  
た  
り  
て

う  
れ  
し  
い  
な

俳句のつくりかた  
①

## 段階的な 俳句作り②

俳句のことば  
を考えよう  
(中句)

上・中・下句の  
関係性を考える

展開・発展

みんなかのことばをかんがえましょう

②  
お  
か  
あ  
さ  
ん  
そうじせんたく  
い  
そ  
が  
し  
い

①  
な  
つ  
や  
す  
み  
ラジオたいそう  
た  
の  
し  
み  
だ

俳句のことばを考えよう ①



# 段階的な 俳句作り③

俳句のことば  
を考えよう  
(上句)

主題を考える

季語・季題

うえのことばをかんがえようぜ!

俳句のことばを考えよう①

② えんそくだ  
かおをあらって  
さあいそぞ


① にちようび  
ざーざーあめが  
ふっていた

# 段階的な 俳句作り③

俳句を  
つなげよう

上・中・下句の  
関係性を考える

俳句の完成形  
に触れる

冬休み <small>ふゆやすみ</small>	夏が来た <small>なりがき</small>	春風や <small>はるかぜ</small>	ことばをつなげて俳句を作ろう <small>はいく</small>
・	・	・	
タンポポゆれる	みんなで行くよ <small>い</small>	海水浴に <small>かみずいよく</small>	
・	・	・	 どんな俳句ができるんでしょうか。
西瓜わり <small>スイカ</small>	帰り道 <small>かえみち</small>	初もうで <small>はつ</small>	
・	・	・	

# 俳句をよもう

読もう

詠もう



## 荒尾くんの解釈

ここは、どこだろう・林の中を歩いていたら、池に出た。まわりには、いっぱい草が茂っていて、静かだな・ポチャン・あれ？何か飛びこんだ。カエルだ。でも、もう何も聞こえない。空気がぼやんとしてる。春だなあ・

季語・蛙

季節・春

作者・松尾芭蕉 (二六四〇-二六九六) \*江戸時代の俳人

ふるいけ かわずと おと  
古池や 蛙飛びこむ みずの音

俳句をよもう 一


「かえる」で俳句を作ろう


俳句を下に書いてみよう

作者紹介



あらお かいしやく  
荒尾くんの解釈

ここは、どこだろう... 林の中を歩いていたら、池に出た。まわりには、いっぱい草が茂っていて、静かだな...  
ポチャン: あれ? 何か飛びこんだ。カエルだ。でも、もう何も聞こえない。空気がぼやんとしてる。春だなあ:

季語: 蛙  
季節: 春

作者: 松尾芭蕉 (二六四〇-一六九六) \*江戸時代の俳人

古池や 蛙飛びこむ みずの音

俳句をよもう

名句を読む

季語と季節

俳句の解釈

お題の提示

俳句の創作


「かえる」で俳句を作ろう


俳句を下に書いてみよう

俳句の筆写

# なぜ名句を読んでもらうか

## 名句だから

日本語として、作品としての普遍性

名句が子どもに与える影響を、  
測り知ることはできない

\* 学びは、測り知ることができないもの

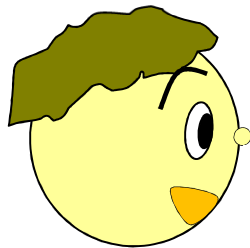
# なぜ、お題(兼題)で作ってもらおうか

連想の起点となる  
ことば(状況)が必要だから

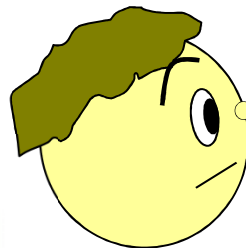
あ！

みどり

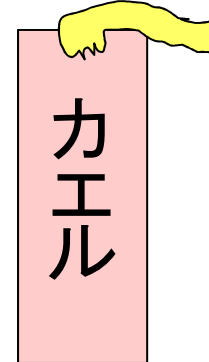
カエルか・・・



田んぼ



ゲロゲロ



お題のことばを入れれば、  
17文字のうち、まず何文字  
か埋まる、ということもある。

# 俳句作りのポイント

- まず、5・7・5の音の規則を覚える

でたらめでもいいから、ことばを探し、  
定型の中に当てはめられるように。

- ことばが浮かばない場合は、連想を促すヒントを出す

タンポポって何色だっけ？

海ってどんなところ？

**\* できたものは、基本的に手直ししない**

プリント集のタイトルは、

俳句を詠もう

と 俳句を読もう

を、兼ねている

創作

鑑賞

創作と鑑賞は二つで一つ

切り離すことができないもの



# 創作と鑑賞

# 俳句は老人の文学

といわれることがある  
その理由は・・・

少ないエネルギーで、詠むことができる

\* ひとつのことを短いことばで表現する

これがもし、短歌だったら・・・

東海の 小島の磯の白砂に  
われ泣きぬれて 蟹とたはむる

言語的にも  
認知的にも

俳句に比べて、はるかに困難

もし、エッセイや小説だったら・・・

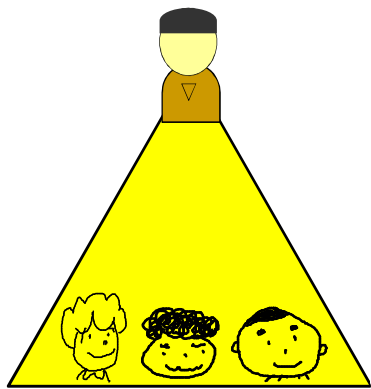
その創作は、もっと困難

\* 一部の限られた人だけのもの

でも、俳句は、とりあえず、簡単に詠める

上は松尾芭蕉から、下は小学生まで

俳句の裾野は広い！



俳句は、  
発達障害のこどもにとって  
もっとも達成可能な言語創作

でも

俳句の親しみやすさは、創作だけではない

## 俳句は、鑑賞も容易

\* 文字が少ないから、すぐ読める

とくに、子どもが詠んだ俳句は、

★内容的にやさしく、

★自分の生活経験と重なるものが多い

ことばのテーブルの壁に貼られた俳句を  
子どもが、ときどき読んでいます。  
そして、ときには、「おもしろい」とか「へん」  
とか「じょうず」とか「わたしも食べた」とか、  
感想や批評(?)をしてくれることもある。



私も、山、  
行ったよ



山見れば  
山を見るほど  
高かった

俳句は、  
発達障害のこどもにとって  
もっとも親しみやすい言語鑑賞物

# 創作と鑑賞の関係

\* 創作と鑑賞はつながっている

「選は創作なり」 高浜虚子

(鑑賞眼が上がれば、創作力もあがる)

発達障害の子どもの場合は



俳句を読むことを通して、  
俳句が詠めるようになる

そして、創作と鑑賞は、

子どもにとって、とても大切なもの

それは、

社会とつながる活動だから

作品は、自分と他人の間にあり、  
共有するもの

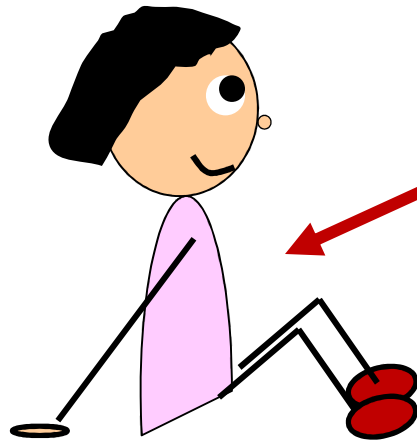
第8回学習会  
「語りを考える」  
のスライドから

物語・音楽・映画・絵画・・・

俳句を読む

共有・共感する世界  
= 社会

他者



鑑賞し  
楽しむ

社会的存在としての  
自分を自覚して行く



第8回学習会  
「語りを考える」  
のスライドから

経験を語り・創作すること

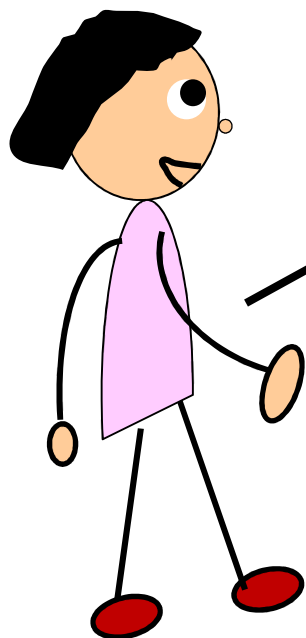
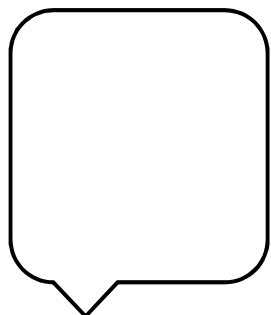
俳句を詠む

共有・共感する世界  
= 社会

他者

社会に歩み出す行為

社会的存在の自覚



# 俳句的ところ

これまで、さまざまな機会に、  
子どもとのコミュニケーションにおける  
「共感」の大切さについて触れてきた

私たちのコミュニケーションのほとんどは

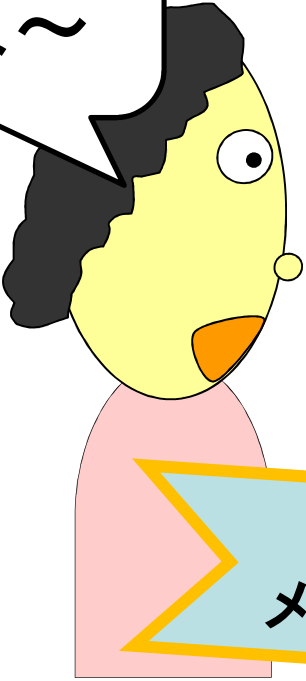
大したことの無いことを話している

おたがいが、共感し合うために  
行われている

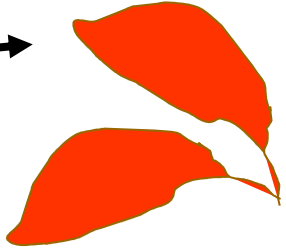
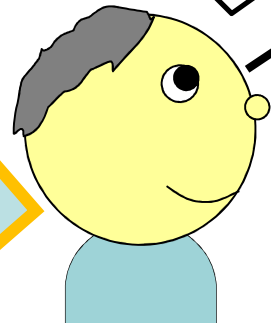
「生活の中の  
ことばの学習」  
スライドから

# 共感のコミュニケーション

はっぱ、  
赤いね～



あかいね～



共感の  
メッセージ

心を、ことばに  
していいんだ！

## 心の動きの言語化

自分の心に気づいて行く

ことばを豊かにして行く

共感のコミュニケーションの意欲

||

心の状況の言語化に対する意欲

たとえば



語彙の習得を促して行く

日常のコミュニケーションの中で

「生活の中の  
ことばの学習」  
スライドから

「きれい」や「はやい」や「まわる」や  
「つつく」は、どんなときに言うか？

状況を言語化するとき



共感のコミュニケーション

だから

小さなことにでも感動して、  
ことばにしよう



心を育て、ことばを育てる

と、いつも話をつなげてきたが

その小さな発見や感動こそ

俳句を詠むことにほかならない

俳諧は三尺の童にさせよ

月は空 夜に出るんだ きれいだな

当たり前が発見



みんなが俳句を作る必要はないけれど  
「俳句的ところ」を持つことは、  
大切かもしれない



今まで、いろいろな観点から、  
ことばの療育における俳句の意義を  
挙げてきたが・・・

でも、俳句は、もとより  
教育プログラムではない

俳句の本質が、川底からきれいな石を  
見つけ出すようなものであれば・・・



俳句は、ただ自分の志向（嗜好）として  
行うもの

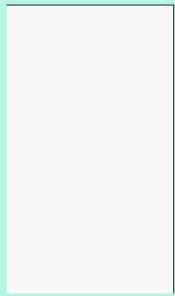
そこには理屈もないし、義務もない

作りたいから作り、読みたいから読む  
内発的なもの

だから

学習課題として、子どもの意欲や知識、  
また、作品の優劣をただす必要はない

# 俳句に夢想するもの

発達障害を持つ子どもが、  
ある日、ふと、紙に、  
 思い浮かんだ俳句を  
書きつける

勉強でなく、自分の楽しみとして

## 【今回お話ししたかったこと】

- 俳句で、人と自分の「こころ」に触れよう
- 俳句を通して、日本語の音感を磨こう
- 俳句作りで、検索能力を高めよう
- 俳句は、ことばのネットワークを広げる
- 省略や倒置の技法で、文法に気づこう
- 俳句を通して、終助詞を身につけよう
- 俳句は、いちばん身近なことばの創作活動
- 俳句は、いちばん身近なことばの作品鑑賞
- 俳句活動は、社会性を高めて行く
- 「俳句的こころ」で、子どもと話そう
- 俳句は、楽しみとして内発的に行うもの

- 「ちくま日本文学全集正岡子規」 筑摩書房
- 「ノボさん」 講談社 ○「笑う子規」 ちくま文庫
- 「芭蕉紀行」 新潮文庫
- 「あるがままの俳人一茶」NHK出版
- 「寺田寅彦随筆集」 岩波文庫
- 「暗黙知の次元」 ちくま学芸文庫
- 「俳句の楽しさ」 講談社現代新書
- 「俳句脳」 角川oneテーマ21
- 「俳句のユーモア」 講談社選書メチエ
- 「1億人の俳句」 ○「国民的俳句百選」 講談社
- 「わざから知る」「比喻と理解」「視点」 東京大学出版会
- 「日本語の歴史」「日本語学概説」 放送大学教材
- 「心を生み出す脳のシステム」 NHKブックス
- 「教育を江戸から考える」 NHK出版
- 「坂の上の雲」 文春文庫 ○「日露戦争物語」 小学館
- 「ヒストリエ」 講談社

参考／引用  
図書

